学校番号	315

令和８年度　地理歴史科

教　科	地理歴史	科　目	地理総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	地理総合 世界に学び地域へつなぐ（山川出版社） 高等地図帳（山川出版社）						
副教材等	地理総合 ワークブック（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「地図と GIS の活用」や「地理的環境」、「世界各地の生活文化」について理解する。
・地球的課題と国際協力について知る。
　以上の学習内容や課題に対して、自分の考えや意見を出し表現する力が求められる。
そのため周りの人と対話をしながら、自分の考えを表現し、積極的に発表し、議論に参加すること。

2　学習の到達目標

・社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（1）地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
（2）地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，　地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。
（3）地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	グローバルな視座から防災などの諸課題への対応を考察する科目で、地理的な課題の解決に向けて構想したりする学習過程を前提に、世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取組みなどを理解するとともに、諸資料から適切かつ必要な情報を効果的に調べ、まとめる技能を身につけている。	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせて、地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力を把握して解決に向けて学習したことを複数の立場や意見を踏まえて構想したことを議論し表現することができる。	知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また，自ら進んでグラフの読み取りや作成をおこなおうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章	地図とGISの活用 (1) 球面上の世界 (2) 日本の位置と領域 (3) 国内や国家間の結びつき (4) 暮らしのなかの地図とGIS	a:地球上の位置情報の基礎として球体としての地球、緯度、経度の基本的な仕組み、地球上での位置の示し方を理解している。 b:グローバルな視点から持続可能な社会の形成のために、資料を根拠として示しながら、課題解決のための方策を多面的・多角的に考察している。 c:身近な地図を集め、それらの地図の特徴を捉えて地図情報の有用性について主体的に追究している。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	第2章	地理的環境の特色 (1) 地形と生活文化 (2) 気候と生活文化 (3) 産業と生活文化 (4) 宗教・言語と生活文化	a:世界の大地形の広がりやプレートテクトニクスに基づくプレート境界と関連し、変動帯に位置する場所では山岳地域や高原を形成し、地震あるいは場所によって火山を伴うことについて理解している。 b:河川、海岸などの外的営力による地形の形成とその広がり、およびそれらの地形と対応した人々の生活と地形を取り巻く環境の変化について、多面的・多角的に考察している。 c:熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯、寒帯の各気候は、人々の生活文化とどのような関りをもつのかについて主体的に追究している。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2学期	第3章	世界各地の生活文化 (1) 経済発展と生活文化の変化 (2) 宗教の多様性と生活文化 ASEAN 諸国 (3) 水の恵みと生活文化 (4) イスラーム社会の多様性と生活文化 (5) 多様な気候と生活文化 (6) 経済統合による生活文化の変化 (7) 寒冷な気候と生活文化 (8) グローバル化による生活文化の変化 (9)土地の開発による生活文化	a:多民族社会と地域統合に焦点をあて、様々な言語や宗教をもつ東南アジア諸国の人々の生活文化にはどのような特色がみられるのか主題図や資料をもとに理解している。 b:社会経済システムの変化に焦点を当て、東アジアの中国と韓国を例に、両国の特徴を主題図やグラフなどの資料を多面的・多角的に考察している。 c:仏教、イスラーム教、キリスト教の各文化圏における生活文化の多様性や多言語・多民族社会の様子、また豊かな資源を背景に経済発展を遂げるASEAN諸国の現状について、主体的に追究している。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	第4章	地球的課題と国際協力 (1) 地球環境問題 (2) 資源・エネルギー問題	a:深刻な地球環境問題を生じている大気汚染、森林減少、砂漠化、気候変動について理解している。 b:持続可能な地球社会を考えるうえで、地球規模で起きている環境問題は一国だけで対応できるものではないことを多面的・多角的に考えていくことが必要であること、自らと関わる問題であることについて、SDGsを踏まえて考察し、判断している。 c:エネルギー資源の変化を捉えながら資源の大量消費によって枯渇の恐れがあることについて主体的に追究している。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
3学期	第5章1部	生活圏の諸課題 (1) 世界からみた日本の地形の特色 (2) 世界からみた日本の気候の特色 (3) 風水害と防災 (4) 火山の噴火と防災 (5) 地震・津波と防災 (6) 都市型災害と防災 (7) 防災への心構え	a:日本列島の地形と気候の特徴を主題図、グラフ、写真などの資料をもとに多様性や自然の恩恵があることを認識しながら自然災害を与える要素があることについて理解している。 b:日本各地では毎年のように様々な自然災害が起きている観点から、風水害、火山、地震、津波、都市型の災害の具体的な事例について多面的・多角的に考察し、判断している。 c:自然災害はどのような自然環境と関係しているのか、それに対する備えはどうすれば良いのかについて主体的に追究している。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	第5章2部	生活圏の諸課題と地域調査 (1) 主題図からみた日本の特徴と課題 (2) 地域調査① (3) 地域調査② (4) 地域調査③	a:現地調査と統計資料によって得られた結果を主題図などにまとめ理解している。 b:日本が抱える地域的な課題について、身近な地域を例に取り上げ、人口の少子高齢化、過疎化について多面的・多角的に考察し、判断している。 c:調査結果をもとに、地域の活性化に向けた街づくりのプランを主体的に追究している。	定期考査	定期考査 ワークシート	振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度